

製品名: TBX1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86705**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:43 kDa; Observed MW:43 kDa

抗原情報

遺伝子名	TBX1
別名	DGS; TGA; VCF; CAFS; CTHM; DGCR; DORV; VCFS; TBX1C; CATCH22
遺伝子 ID	6899
SwissProt ID	O43435
免疫原	ヒト TBX1 の合成ペプチド

背景

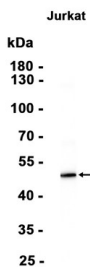
この遺伝子は、共通の DNA 結合ドメインである T ボックスを共有する、系統的に保存された遺伝子ファミリーの一員です。T ボッ

クス遺伝子は、発達過程の制御に関与する転写因子をコードしています。この遺伝子産物は、マウスの相同遺伝子と 98%のアミノ酸配列相同性を有しています。神経堤関連発達障害を特徴とする一般的な先天性疾患であるディジョージ症候群 (DGS) /口蓋心臓顔面症候群 (VCFS) は、染色体 22q11.2 の欠失と関連しており、この遺伝子はそこにマッピングされています。ディジョージ症候群のマウスモデルを用いた研究では、この遺伝子が DGS/VCFS の分子病因において主要な役割を果たしていることが示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

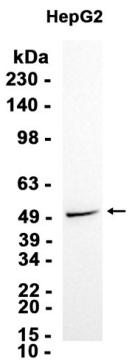
研究分野

-

画像データ



TBX1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86705 を 1:3000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。